

内閣府

令和元年度「機関投資家等における地方創生SDGsに関するアンケート調査」
ご協力のお願い(案)

本アンケートは、これまで内閣府により政策推進をしている地方創生SDGsの取組について、より一層の取組促進として、地方創生SDGs金融を通じた自律的好循環の形成(図.1参照、点線枠が今回の調査対象)へ向け、上場企業や機関投資家等の皆様へ内閣府の取り組み状況を共有させていただくとともに、今後の政策展開の検討を行うため、機関投資家の中でも特に長期的な視点を以って運用していることが想定される皆様を主な対象として、SDGsに取組む上場企業の情報活用状況などを調査するものです。

■ 地方創生SDGs金融を通じた自律的好循環形成の全体像

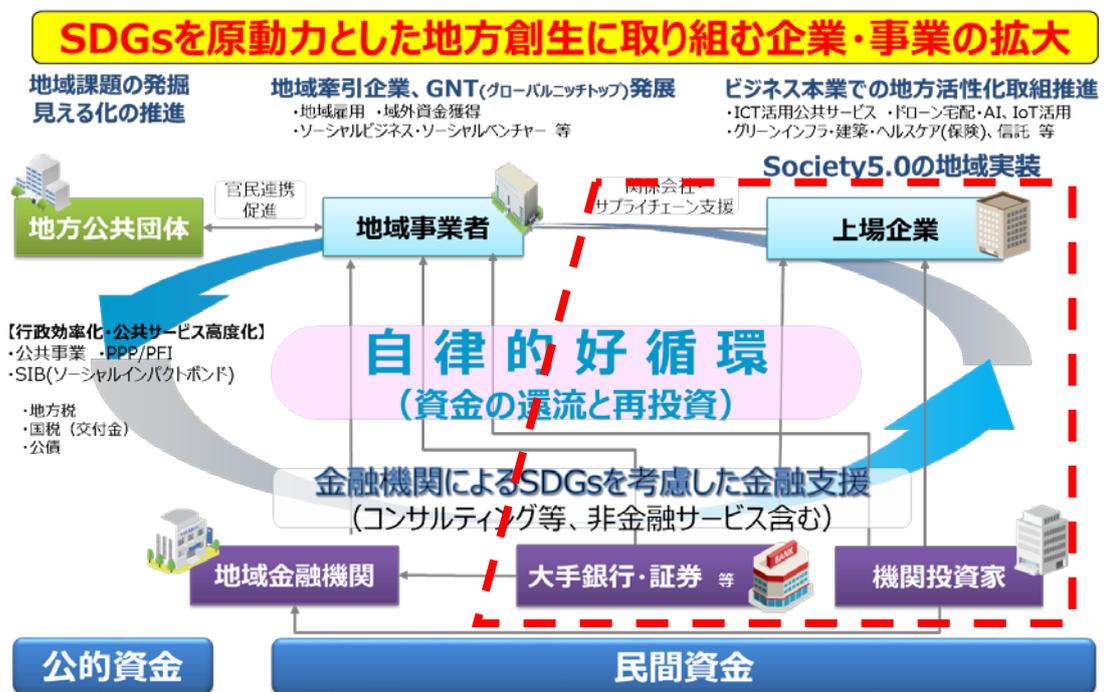


図.1 地方創生SDGs金融を通じた自律的好循環形成の全体像

調査結果については、地方創生SDGsの推進にむけた今後の施策検討に活用させていただきます。

ご繁務の折にお手数をお掛けいたしますが、是非ご協力をお願いいたします。

ご回答の内容は、組織名や個人が特定されない形で取りまとめ、情報をそのまま公開することはございません。なお、本調査は内閣府より委託を受け、株式会社NTTデータ経営研究所が事務局として担当いたします。どうぞよろしくお願い申し上げます。

調査の構成

- ① 基本情報について
- ② ESGについて
- ③ SDGsについて
- ④ SDGsに関する政府の取組などについて
- ⑤ 地域課題解決について
- ⑥ 地方創生SDGsの取組の具体例について

調査票への回答にあたって

1. 本紙は、次のページから質問項目を記載しております。回答につきましては以下に示す URL より回答フォームへ直接入力いただく形でご回答いただきますようお願いいたします。
2. データの管理は厳重に行い、ご回答いただいた内容が関係者外に漏れることはありません。また、個別の回答は、本事業終了後、責任を持って破棄いたします。

回答方法・期限

1. ご回答につきましては、以下URLの回答フォームよりWEB上でのご回答をお願いいたします。
回答フォーム：URL・・・・・・・・・・・・・・・・
2. 提出期限 2月●●日（●）●●：●●

お問合せ先

【本調査票への回答に関するお問合せ先】

内閣府委託事業事務局 アンケート回答者専用直通窓口

委託先事業者：株式会社NTTデータ経営研究所

Eメール：●●●● 電話：●●●-●●●●-●●●●

時間：●●～●●

【上記以外に関するお問合せ先】

内閣府地方創生推進室 電話：03-5510-2175

質問2. ESGについてお伺いします。

(ア) 投資の際にESGを考慮しますか。

- とても考慮する 少し考慮する あまり考慮しない 考慮しない わからない
該当しない（投資家ではない等）

(イ) ※（ア）で「とても考慮する」、「少し考慮する」と回答した方のみお答えください。

投資先企業との間で、ESGに関する対話を行っていますか。

- よく行っている
少し行っている
あまり行っていない
行っていない
その他（具体的に： ）

(ウ) 投資全体のうち、ESG投資はどの程度の割合を占めていますか。

- 10%以下
10%～20%
20%～30%
30%～40%
40%以上
わからない
該当しない（投資家ではない等）

(エ) ESG投資を行うにあたり、どのような手法を用いていますか。

（あてはまるもの全てに✓）

- インテグレーション（個別株式の財務分析にESG情報も含める方法）
エンゲージメント（株主により企業の行動に影響を与えること（対話や議決権行使を含む））
ベスト・イン・クラス（特定のセクターの中で相対的にESG評価の高い企業へ投資する手法）
テーマ投資（クリーンエネルギー等特定のESGテーマに関連する企業・セクターに投資する方法）
ポジティブ・スクリーニング
（特定のESGクライテリアに沿ってESG評価の高い銘柄に投資する方法）
ネガティブ・スクリーニング
（特定のESGクライテリアに沿ってESG評価の低い銘柄を除外する方法）
その他（具体的に： ）
ESG投資を行っていない
該当しない（投資家ではない等）

(オ) 投資判断や業務においてESGに関する情報を活用する理由はどのようなものですか。

(✓は最大3つまで)

- 安定的なリターン獲得のため
- 当該銘柄の価格急落リスクを回避するため
- ESGファクターの独自分析のため（銘柄判断、リスク管理等）
- 社会貢献を念頭においた投資戦略を採用しているため
- 企業の長期的業績・持続可能性に影響があると考えため
- 議決権行使において判断の参考とするため
- アセットオーナー（顧客）のニーズが増大しているため（アセットマネージャーの場合）
- その他（具体的に： _____）
- 該当しない（投資家ではない等）

(カ) ESGに関する取組が企業の業績に影響があると考え理由はどのようなものですか。

(✓は最大3つまで)

- 企業としての持続可能性の向上が期待できるため
- ステークホルダーの理解が進み資金の調達が容易になると考えるため
- 人材獲得や働き方改革等「ヒト」の面で好影響が期待できるため
- 取組をとおり新事業やイノベーションの創出が期待できるため
- コーポレートガバナンスの改善が期待できるため
- 経済活動を行うにあたっての前提となる環境・社会の持続性向上が期待できるため
- その他（具体的に： _____）

質問3. SDGsについてお伺いします。

我が国の代表的な機関投資家であるGPIF（年金積立金管理運用独立行政法人）はESGとSDGsの関係につき、企業と社会の「共通価値の創造」・企業価値の持続的な向上において、「GPIFによるESG投資と、投資先企業のSDGsへの取組は、表裏の関係にあるといえる」としています。

<https://www.gpif.go.jp/investment/esg/#b>

以下で、SDGsに対するご見解をお聞かせください。

(ア) 投資の際にSDGsを考慮しますか。

- とても考慮する 少し考慮する あまり考慮しない 考慮しない わからない
- 該当しない（投資家ではない等）

(イ) 投資判断においてSDGsとESGの観点のどちらに関心がありますか。

- SDGs ESG SDGsとESGの両方 どちらとも言えない
- 該当しない（投資家ではない等）

(ウ) ※ (イ) で「SDGs」と回答した方のみお答えください。

SDGsをより重視する理由は何ですか（あてはまるものすべて✓）

- 指標としてより網羅性があるため
- グローバルな基準・目標のため地域を跨いだ企業横比較が行いやすいため
- 企業の持続可能性をみる上でより説明力があると思うため
- 新しい指標・観点であり超過リターンの獲得がより期待できると思うため
- その他（具体的に： _____）

(エ) 投資判断や業務においてSDGsに関する情報を活用する理由はどのようなものですか。

（✓は最大3つまで）

- 安定的なリターン獲得のため
- 当該銘柄の価格急落リスクを回避するため
- SDGsファクターの独自分析のため（銘柄判断、リスク管理等）
- 社会貢献を念頭においた投資戦略を採用しているため
- 企業の長期的業績・持続可能性に影響があると考えため
- 議決権行使において判断の参考とするため
- アセットオーナー（顧客）のニーズが増大しているため（アセットマネージャーの場合）
- その他（具体的に： _____）

(エ) ESGとSDGsの関係性についてどのように考えていますか（あてはまるものすべて✓）

- ESG投資とSDGs投資は一緒である
- SDGsは目標であり、ESGは課題である
- 投資家も企業もSDGsの17の目標のもと、ESG投資やESG経営を行うべきである
- 企業にとってはSDGs、投資家にとってはESGが重要である
- その他（具体的に： _____）

(オ) 企業は社会課題の解決のサービスや事業を通じて持続的な収益と企業価値向上を目指しております。投資の意思決定の際に、社会課題解決が期待できる事業と収益の寄与が大きい事業のどちらを重視しますか

- 収益の寄与が大きい事業 社会課題解決が期待できる事業 分からない

(カ) 企業は、自身の事業活動をSDGsと紐付けるようマッピングを行ってきております。投資の意思決定際に、事業活動とSDGsのマッピングの情報は活用されますか

- 活用している 活用していない 今後活用を検討する予定

(オ) SDGsに関する取組が企業の業績に影響があると考え理由は何のようなものですか。

（✓は最大3つまで）

- 企業としての持続可能性の向上が期待できるため
- ステークホルダーの理解・連携が進み資金の調達が可能になると考えるため
- 人材獲得や働き方改革等「ヒト」の面で好影響が期待できるため
- 取組をとおり新事業やイノベーションの創出が期待できるため
- コーポレートガバナンスの改善が期待できるため
- 経済活動を行うにあたっての前提となる環境・社会の持続性向上が期待できるため
- その他（具体的に： _____）

(カ) SDGs17の目標のうち、貴社が重視している目標について、重視度の高い上位3つについて重視度の高い順に番号をご記入ください。

SDGs17の目標	国内の取組	海外の取組
	重視している目標 (SDGs17の目標のうち重視度の高い順に1~3をご記入ください)	重視している目標 (SDGs17の目標のうち重視度の高い順に1~3をご記入ください)
1 貧困：あらゆる形態の貧困を終わらせる		
2 飢餓：飢餓の解消、食料安全保障・栄養改善、持続可能な農業の促進		
3 保健：すべての人々の健康的な生活、福祉の促進		
4 教育：包摂的かつ公正な質の高い教育、生涯学習機会の促進		
5 ジェンダー平等：女性及び女児の能力強化		
6 水・衛生：水と衛生の利用可能性、持続可能な管理の確保		
7 エネルギー：安価かつ信頼できる持続可能なエネルギーアクセスの確保		
8 経済成長・雇用：包摂的かつ持続可能な経済成長、完全かつ生産的な雇用とディーセント・ワークの促進		
9 インフラ・産業化・イノベーション：強靱なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化、イノベーションの推進		
10 不平等：国内、及び国家間の不平等是正		
11 持続可能な都市：包摂的、安全かつ強靱で持続可能な都市及び人間居住の実現		
12 持続可能な生産と消費の確保		
13 気候変動及びその影響を軽減する緊急対策		
14 海洋資源：海洋・海洋資源の保全と持続可能な利用		
15 陸上資源：生態系の保護・回復・持続可能な利用、森林経営、砂漠化・土壌劣化の対策、生物多様性		
16 平和と公正：平和で包摂的な社会、司法へのアクセス、効果的で説明責任のある包摂的な制度		
17 実施手段の強化、グローバル・パートナーシップ		
18 その他課題 (具体的に：)		

(キ) SDGsの取組を実施している企業の取組をどうやって知りますか。

(✓は最大5つまで)

- 企業訪問による個別インタビュー
- 企業説明会への参加
- 証券会社等のアナリストレポート
- 企業HP
- TV
- 新聞
- 業界誌
- Twitter等SNS
- 国からの発信
- アセットマネージャーからの報告（アセットオーナーの場合）
- コンサルティング会社等外部機関の情報
- 同業・自社ネットワーク経由の口コミ
- 当該企業の商品・サービス
- その他（具体的に： _____)

(ク) 企業がSDGsの取組を開示することは重要ですか。

- とても重要
- 少し重要
- 重要ではない
- わからない

(ケ) 企業のSDGsの取組についての情報を入手しやすくなる仕組みとして有効なものはどれですか。

(✓は最大3つまで)

- CSR報告書等IR資料での開示の充実
- 個別インタビューや企業説明会での説明の充実
- アナリストレポートでのSDGs観点の付与
- アセットマネージャーからの報告の充実（アセットオーナーの場合）
- 国の表彰等による見える化
- TVや新聞等マスメディアでの発信
- 外部専門家・業界団体等第三者機関の報告書
- 商品・サービスでの見える化
- セミナー/カンファレンスの積極的な開催
- その他（具体的に： _____)

(コ) 企業のSDGsの取組の見える化（表彰等）は投資判断のきっかけとなりますか。

- きっかけとなる
- きっかけとはならない
- 分からない

(サ) ※ (コ) で「きっかけとならない」、「分からない」と回答した方のみお答えください。

どのようにすれば投資判断のきっかけとなると思いますか。(✓は最大3つまで)

- 表彰基準の明確化
- 表彰基準の客観性
- 表彰された企業の取組についての情報の充実
- 第三者機関等によるモニタリングの充実
- 代表的投資家での採用
- リターン向上のエビデンス
- アセットオーナーによる推奨
- その他 ()

質問4. SDGsに関する政府の取組等についてお伺いします。

(ア) SDGsに関する政府の方針や政策を知っていますか。

- 詳しく知っている
- 知っている
- 聞いたことがある
- 知らない (今、初めて知った)

(イ) (ア) で知っている と答えた方にお伺いします。SDGsに関する政府の取組のうち、地方創生に資するSDGs (地方創生SDGs) の取組について知っていますか。

- 詳しく知っている
- 知っている
- 聞いたことがある
- 知らない (今、初めて知った)

(ウ) SDGs未来都市 (<https://www.kantei.go.jp/jp/singi/tiiki/kankyo/>) に関して知っていますか。

- 取組内容まで知っている
- 存在は知っている
- 知らない (今、初めて知った)

(エ) 地方創生に関する政府の方針や政策を知っていますか。

- 詳しく知っている
- 知っている
- 聞いたことがある
- 知らない (今、初めて知った)

(オ) 投資家として下記のうち、特に何を知りたいですか。

(✓はひとつだけ)

- SDGsに関する政府の方針や政策
- 地方創生SDGsの取組
- SDGs未来都市に関して
- 地方創生に関する政府の方針や政策
- 上記全て
- 特にない
- 該当しない (投資家ではない等)

(カ) 企業の地方創生SDGsの取組の見える化（表彰等）は投資判断のきっかけとなりますか。

- きっかけとなる
- きっかけとはならない
- 分からない

(キ) ※ (カ) で「きっかけとならない」、「分からない」と回答した方のみお答えください。

どのようにすれば投資判断のきっかけとなると思いますか。(✓は最大3つまで)

- 表彰基準の明確化
- 表彰基準の客観性
- 表彰された企業の取組についての情報の充実
- 第三者機関等によるモニタリングの充実
- 代表的投資家での採用
- リターン向上のエビデンス
- アセットオーナーによる推奨
- その他 ()

質問5. 地域課題解決についてお伺いします。

(ア) 現在、国内の地域活性化を意識した投資を行っていますか。

- 行っている
- 行っていない
- 分からない
- 該当しない（投資家ではない等）

(イ) 国内の地域活性化のための投資への障壁がありましたらお答えください。

(✓は最大3つまで)

- 地方に関する情報を十分に有していない
- 情報収集・分析にかかる態勢が十分でない
- 投資商品が少ない（地方債、グリーンボンド、ソーシャルボンド、地方債ESGインデックス等）
- リターンが期待できない
- 費用対効果が見込めない（情報収集・分析等の負荷等）
- コスト・リターンの観点等からアセットオーナーの理解が得づらい（アセットマネージャーの場合）
- 特定の地域に注目して投資していない
- 分からない
- 該当しない（投資家ではない等）
- その他 ()

企業名	
取組例	
評価できる理由	

質問7. 今後、内閣府では地方創生SDGsの達成に向けた取組をさらに推進していく方針です。ご意見、ご要望等ありましたら、ご自由にご記入ください。

--

アンケートは以上です。ご回答いただきありがとうございました。